

高みを目指すために

3年生代表

僕は今まで、クラブ活動に力を入れてきました。僕は男子バレーボール部のキャプテンとして、チームをまとめつつも、みんなで楽しみながら高みを目指したい、という目標を掲げてクラブ活動に励んできました。この目標は欲張りかもしれませんが、この目標こそ、自分がかなえたいものでした。

実際、目標達成はかないませんでした。中体連大会では、県大会に進めず、最後は自分のミスで負けてしまったからです。しかし、僕はこのチームでプレイできてよかったと思えています。なぜなら、このチームだからこそ、思い切りプレイできたと思っているからです。家族も、「最後の試合は、やりきった試合だった。」と認めてくれました。初心者ばかりのチームでしたが、ここまで戦えたのは、このチームの雰囲気や、コーチや保護者のサポートがあったからだと思っています。もっとこのチームで上を目指したかった思いはあるし、悔いは残りますが、心の底からこのチームで良かったと思えています。部活動は引退しましたが、中体連以外の大会がまだ残っており、その大会は今までのチームで出るわけではありませんが、そこでも思い切りプレイできるように頑張りたいと思っています。

2学期からは、受検に向けて勉強に集中していかなくてはなりません。しかし、今までバレーボールに全力で取り組んできた自分にとって、切り替えが難しいことを感じています。

自分は、何事も集中できる環境をつくるのが大切だと感じています。なので、今通っている塾での勉強を継続しながら、家庭学習も大切にしていきたいです。1学期のテストでは、思うような成績が取れなかったこともあるので、なおさらです。

今まで自分はバレーボールに打ち込んできて、いろいろ挫折もあったけど、物事をやり切る自信を身につけてきたつもりです。これからはバレーだけでなく、いろいろなことに打ち込めるように、視野を広げて、自分らしい生き方をしていきたいです。

足りないもの

2年生代表

私はこの二学期でできるようになりたいと思っています。

それは他人の意見の正しい扱い方です。私は去年まで他人の意見を聞くことが嫌いでした。自分にとってその意見は不都合であり、間違いと断定してしまっていたからです。

しかし、この考えは一学期の約四か月間生活することで変化しました。他人の考えを取り入れることは意見の強化につながるということが分かったからです。しかし、私はまだ自他の意見の全てを活かしきれていません。双方の意見の真ん中をとった中立的な意見が作り出せていないからです。どちらかの意見に偏ったものしかできないそれは、その分だけ理解者を失うこととなります。なので、私はこの二学期で、自他の意見を活かし尊重できるようになりたいと思います。他人の意見を受け入れ、自分に取り入れることはその人本体の存在を受け入れ尊重することにもつながると私は考えています。他人を知ること一人ひとりと接していくための一つの道具と、その人に対する知識にもなります。それを考えると、私は議論においても、考え方においても、根本的に人間関係においても、まだまだ未熟だということが分かります。しかし、クラス内で意見交換をすることで、こうして自分の弱点を見つけ、改善する見通しをもつことができました。

知らないことが悪いのではなく、知ろうとしなかったのが悪い。道徳の「自己中」という題材に対するクラスとしての結論です。これを言い換えると、弱点を改善できないのが悪いのではなく、改善する努力をしないのが悪いに置き換えることができます。何事においても、過程を、その物事の根本を深く考え、尊重できるように、二学期の生活を送るとともに、日々の授業を受けたいと思います。

二学期の目標

1年生代表

長い夏休みも終わり、今日から二学期が始まります。

一学期は中学生になって、戸惑うこともあり、生活、勉強の面でも反省しなければいけないところがたくさんありました。二学期では、しっかり目標をもって生活していきたいと思います。

そのためにもまず、あいさつです。一学期にもよく言われていたことですが、人に言われる前に、元気に大きな声であいさつをしたいと思います。先生方にはもちろん、友達、先輩、地域の人にも気持ちのよい挨拶をしていきたいです。

次に勉強です。分からない所をそのままにせず、間違ったところはもちろん、間違っていないところも確実に理解し、解ける問題を多くしていきたいです。そうすれば、自分の力になると思います。

二学期は蓮華祭があります。一人ひとりが協力し、気持ちを一つに楽しめたらいいと思います。

何気なく毎日を過ごすのではなく、目標をもち、当たり前のことを守って二学期も努力し、充実した学校生活を送れるようにしていきたいです。